

2G 看取りに向けての患者・家族への ケア(グリーンケアも含めて)

1

授業形式<1症例に対して各職種でディスカッション>

60分1コマで2回

症例設定

対象:医療系の3,4年制 医学生、看護学生、栄養学部、薬学部、リハビリテーション学科、(社会福祉学科)

看取りの場の設定:大学病院の一般病棟

症例:肺がん・骨・脳転移 男性 75歳 嘔せ込みがあり食事が減少していき、喫煙歴あり、会社経営

妻70歳、子供なし

治療経過:3年前に手術、術後化学療法を実施。その後、フォローアップしていたが1年前に再発(画像検査で骨転移)を認める。今年になって痛みが出現、歩行が難しくなり、食欲も落ちているため症状緩和のため入院。鎮痛剤は内服中。入院後の検査で脳転移も見つかる。入院後、患者に病状説明し、妻にのみ患者の予後は週単位と説明あり。

2

1回目の授業:この状態での各職種での関り(5分野 合同授業)

事例の提示:10分(1コマ目と2コマ目の課題説明)

自己紹介・課題の説明:10分

話し合い内容:患者・家族へ各職種の立場でできること、他職種に望むこと

ディスカッション:30分

発表・まとめ:10分

3

2回目の授業 看取りに向けての患者・家族へのケア(グリーンケアも含む)

ミニレクチャー後に、ディスカッション(看取りのケア)

ミニレクチャーに使用するスライド:林先生の「看取りの作法をどう伝えるか」のスライドを使用する。使用するスライドは、2~4をまとめたスライドを1枚、「内科医師にお願いしていること」事前に心がけている患者・家族への配慮」

ミニレクチャー:10分

症例と課題の説明:10分 患者は状況悪化に伴い、食べられなくなり、ベッド上のみで傾眠傾向のため意思決定確認ができない状態。妻の状態は眠れなくなり、食欲が落ちており、口数が減っている。涙ぐむこともあることを説明。

話し合い内容:患者の意思決定をどう確認するか、グリーンケアも含めて、各職種の立場で何ができるか検討してもらう。

ディスカッション:30分

発表・まとめ:10分 まとめの時に「身近な人を亡くした人に接する時に大切なこと」を示す

4